

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学統計・解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（12月20日-26日）の新規陽性者数は、130人（先々週26人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は4.93(95%CrI:4.10, 5.83)（図1）、このうち那覇市の実効再生産数(R)は2.97(95%CrI:1.04, 5.95)でした。また、宮古は0.94(95%CrI:0.03, 4.75)、八重山は0.95(95%CrI:0.02, 5.13)でした。

保健所管区別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部88人（先々週9人）、中部31人（先々週13人）、那覇市6人（先々週2人）、南部5人（先々週2人）、宮古0人（先々週0人）、八重山0人（先々週0人）でした（図2）。

北部において急速に感染が拡大しています。とくに、本部町66人と集中しており、名護市15人と続きます。中部においても拡大しており、沖縄市12人、うるま市12人と並んでいます。那覇市、南部においても徐々に増加傾向にあります。一方、宮古、八重山では新規に陽性者は確認されていません。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に本部町500.8、名護市24.0、うるま市10.0でした（図3）。

渡航者関連

先週の新規陽性者のうち、県外渡航後に感染を確認した県民1人を認めました。

推定感染経路とワクチン接種歴

保健所の疫学調査によると、先週の新規陽性者130人の推定感染経路は、家庭30人（23%）、職場24人（19%）、入所施設22人（17%）、会食20人（15%）と家庭以外での感染が増えています。職場感染のうち9人が介護従事者、8人が基地従業員でした。また、ワクチン接種歴を聴取したところ、2回接種64人（49%）、未接種12歳以上40人（31%）でした（図4）。

療養場所

県医療本部によると、先週の新規陽性者130人の療養場所は、12月20日時点において、ホテル療養中57人（44%）、入院中55人（42%）、自宅療養中8人（6%）、入院調整中7人（5%）入院勧告解除後3人（2%）となっています。沖縄県では、できるだけ家庭内感染を減らしていくため、入院またはホテルでの療養を個別に勧めています。

入院患者数推移

入院患者数は、先週末（12月26日時点）で67人と、1週間前の14人より急速に増加しています。酸素投与など中等症患者についても33人と1週間前の4人より大きく増加しています。ただし、気管挿管など重症患者は発生していません（図5）。

米軍基地における発生状況

米軍当局からの報告によると、先週の新規陽性者は142人でした。その内訳は、多い順にキャンプハンセン76人（先々週186人）、嘉手納基地16人（先々週6人）、キャンプコートニー12人

(先々週1人)でした(図6)。

キャンプハンセンの流行は縮小してきていますが、その他の基地へと広がっており、かつ増加傾向にあります。キャンプハンセン、嘉手納基地、キャンプシュワブの基地従業員の感染者からオミクロン株が分離されていることから、在沖米軍全体にオミクロン株が広がっている可能性があります。

オミクロン株の発生状況

沖縄県内において、ゲノム解析でオミクロン株と同定された症例、L452変異株PCR陰性の症例、あるいはオミクロン株の濃厚接触者であってPCR陽性が確認された症例を合わせると、12月26日までに28人が発生しています。保健所管区別では、北部1人、中部24人、那覇市2人、南部1人とキャンプハンセンのある中部に集中しています。中部の新規陽性者のうち58%がオミクロン株の感染と推定されます(図7)。

職業別では、基地従業員が13人(46%)と最多でした。推定感染経路は、家庭12人(43%)、職場10人(36%)、会食4人(14%)となっています。

住民向け集団検査の結果

在沖米軍、中部および北部における感染拡大を受けて、基地従業員、金武町、本部町、名護市の住民を対象とする集団検査を実施しています。主としてキャンプハンセンの従業員を対象とした集団検査では、654人が検査を受け、7人(1.07%)の陽性者を確認しました。一方、金武町297人、本部町114人、名護市87人の受検者はすべてPCR陰性でした。

職場感染事例にみる予防接種効果の推移

マスク着用など個人レベルでの感染予防行動が大きく変化しない職場感染に焦点をあて、予防接種効果の変化を確認しました。図9は、予防接種歴のデータが揃っている2021年8月15日以降において、職場感染が確認された感染者のうち予防接種歴が2回ある感染者割合の月別推移を示しています。

データ数の少ない2021年11月-12月を除けば、同年8月では6.3%(95%信頼区間:4.6-8.4%)、2021年9月が12.5%(95%信頼区間:9.5-16.1%)、同年10月が31.4%(95%信頼区間:16.9-49.3%)と、予防接種歴が2回ある感染者の割合は増加傾向にあります。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、本島北部と中部において急速な感染拡大を認めています。北部では、デルタ株の再流行が生じており、とくに本部町において会食で拡大しているほか、高齢者施設における集団感染も発生しています。ただし、高齢者施設については、迅速な対応が地域でとられており、地域への波及は限定的だと考えられます。一方、中部では、米軍基地におけるオミクロン株の流行が波及しており、感染力を増したとされる同株による市中流行の拡大が懸念されます。

諸外国の動向をみると、沖縄県においても、デ

ルタ株からオミクロン株へと置き換わっていくものと考えられます。とくに、オミクロン株による市中での集団感染を予防していくことが、急速な感染拡大を抑止していくうえで重要です。年末年始のイベント(新年会、成人式など)において、症状のある方が参加しないよう確認することに加え、多人数が参加する飲食を伴うイベントを延期すること、参加者に迅速抗原検査を実施して陰性を確認することを検討してください。

今後も増加傾向が続くものと推定し、今週の新規陽性者数は125-252人と見込みます。一方、入

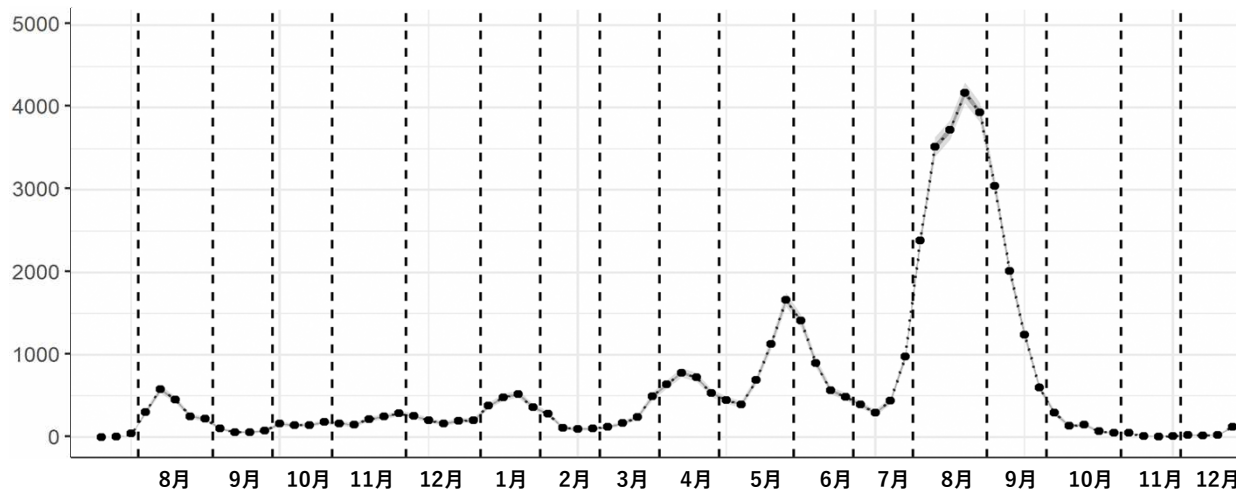
院患者数については、従来の入院判断が踏襲されるのであれば55-65人と見込みますが、オミクロン株の感染者を全例入院させる方針が維持される場合には、今週末には100人以上となる可能性があります（図10）。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)

週あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

週あたり推定値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

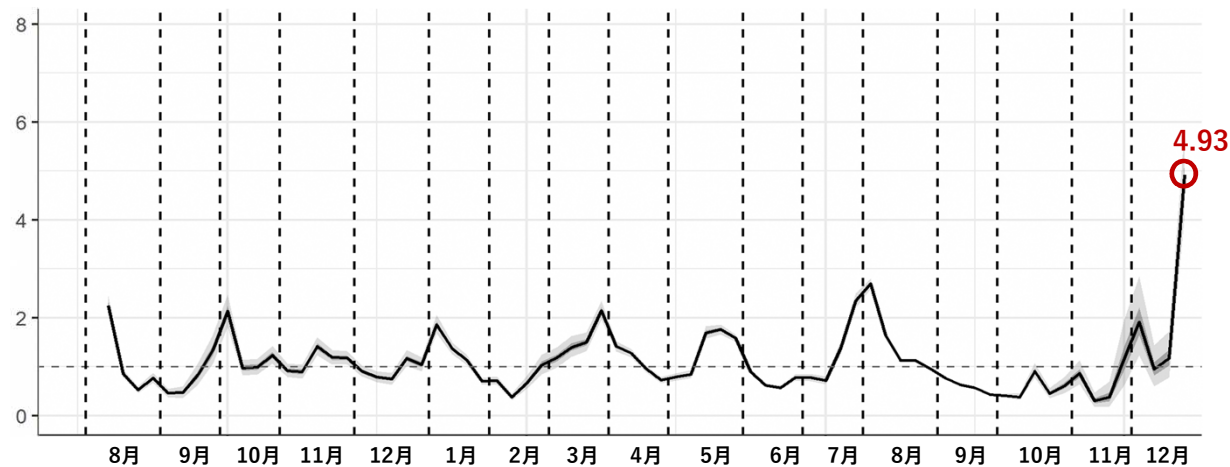


図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間合計

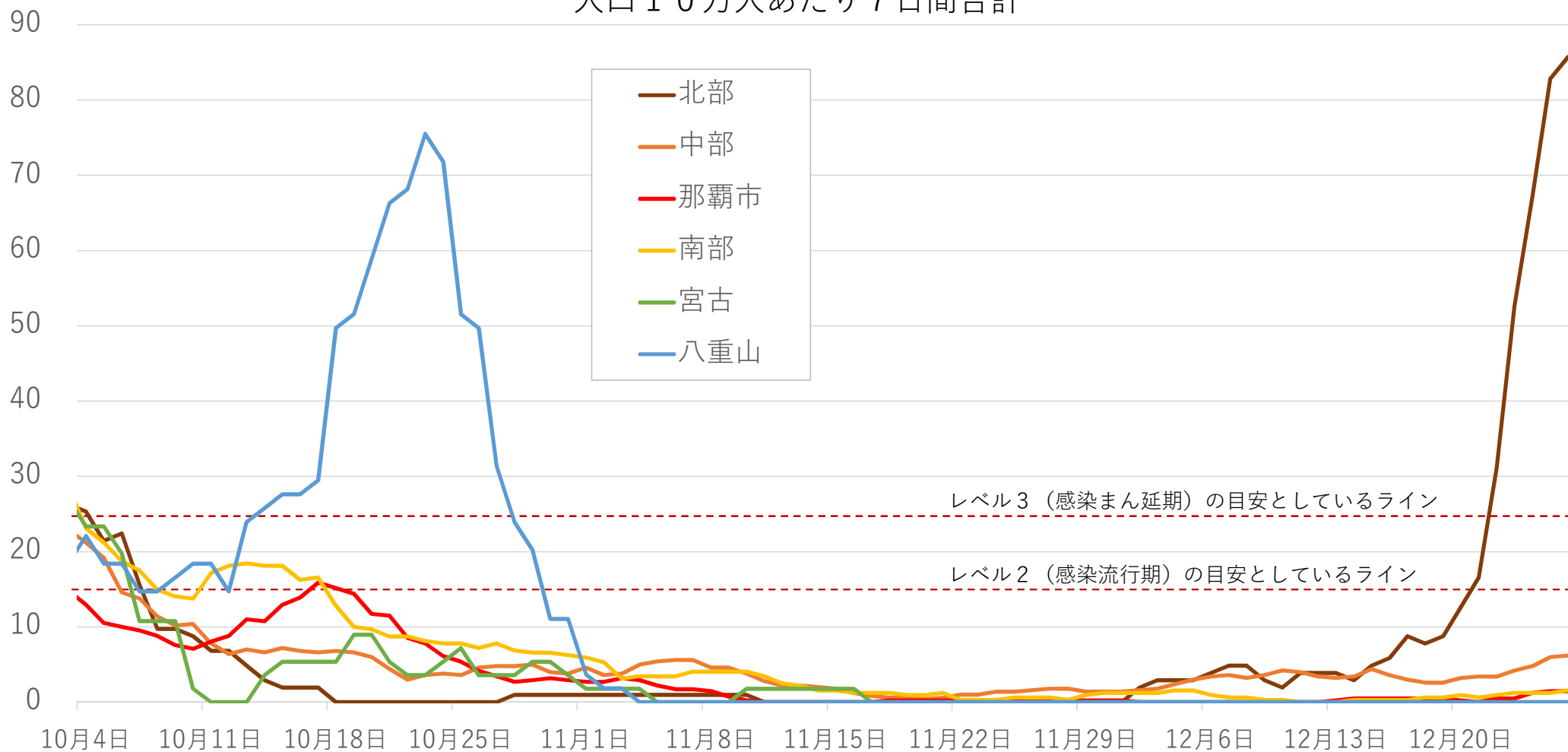


図3 沖縄県・市町村別ヒートマップ（12月20日～26日）

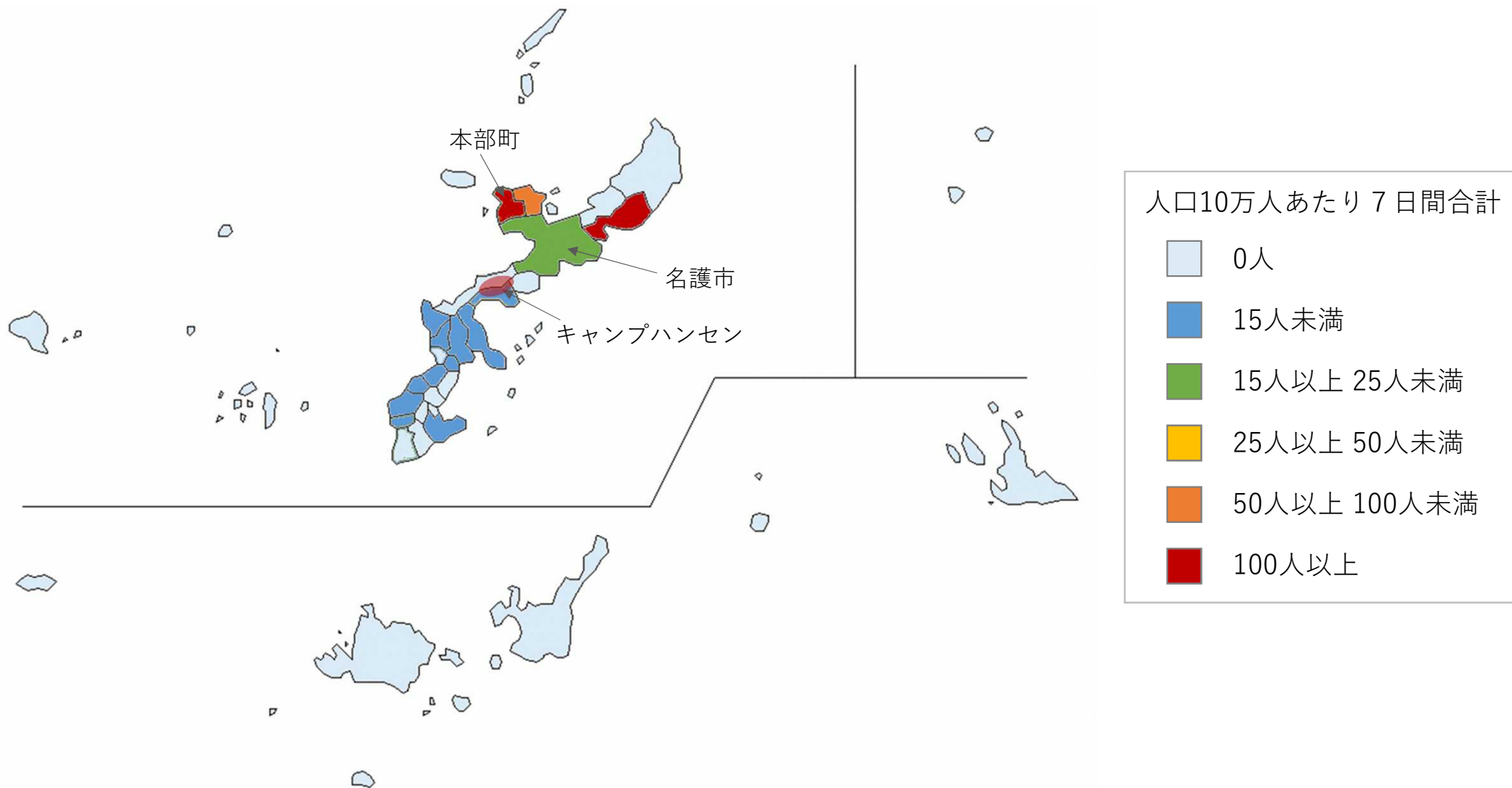
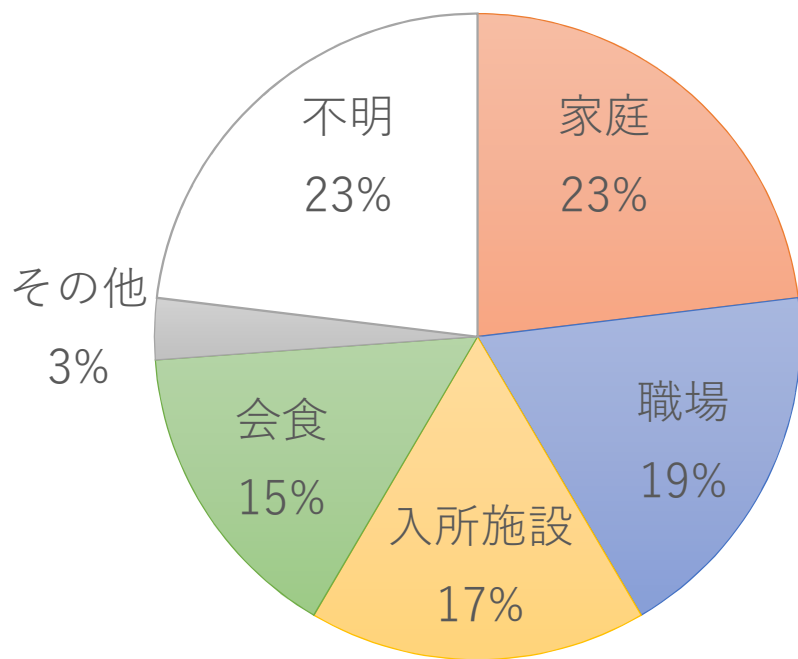
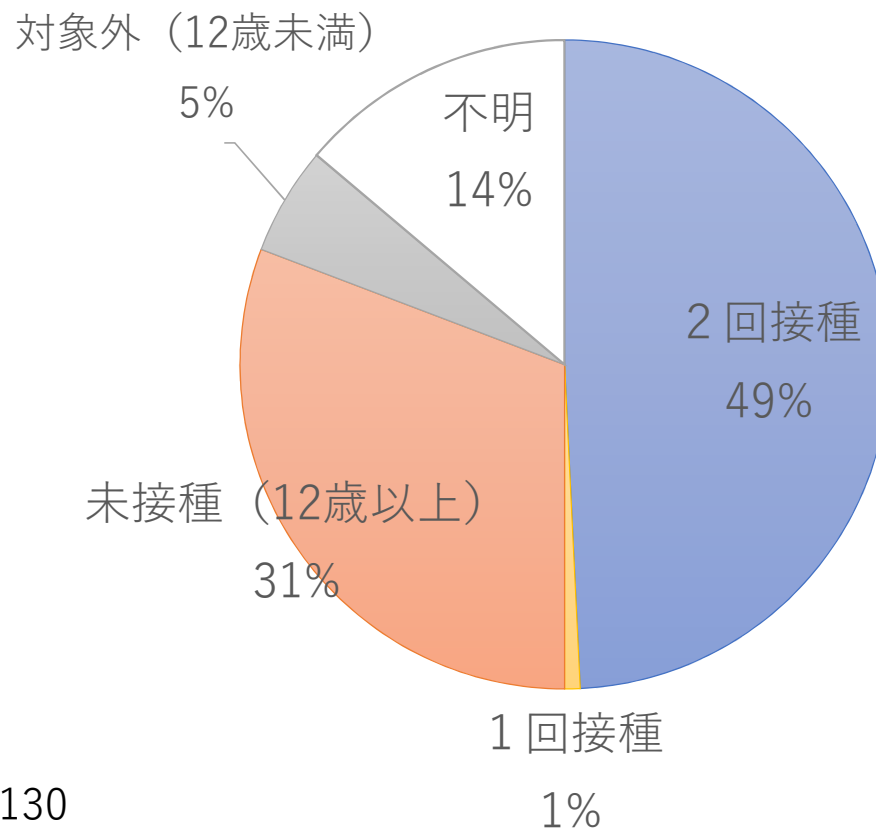


図4 推定感染経路とワクチン接種歴 (12月20日~26日)

推定感染経路



ワクチン接種歴



n=130

図5 新規陽性者数および重症度別入院患者数

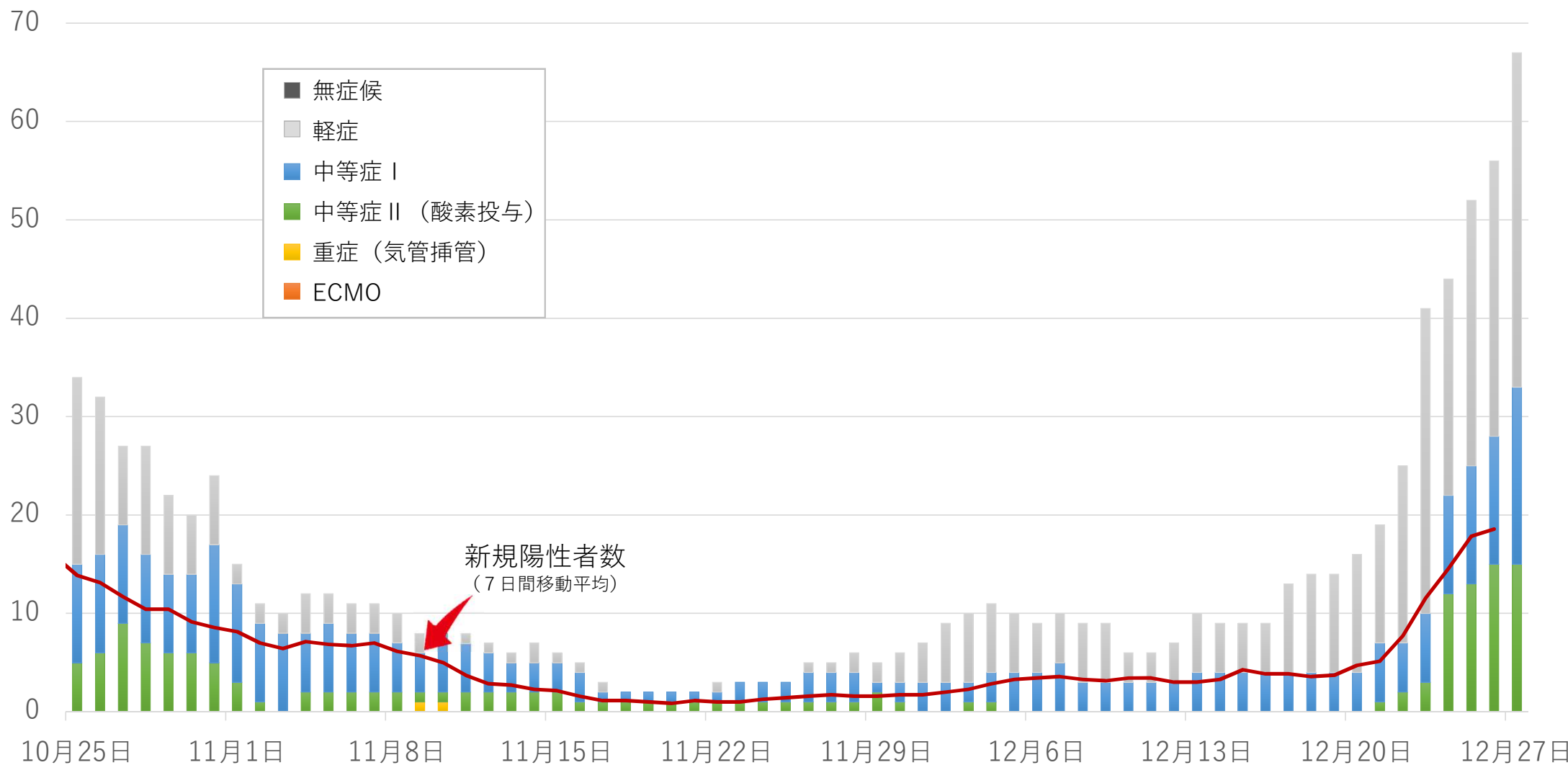
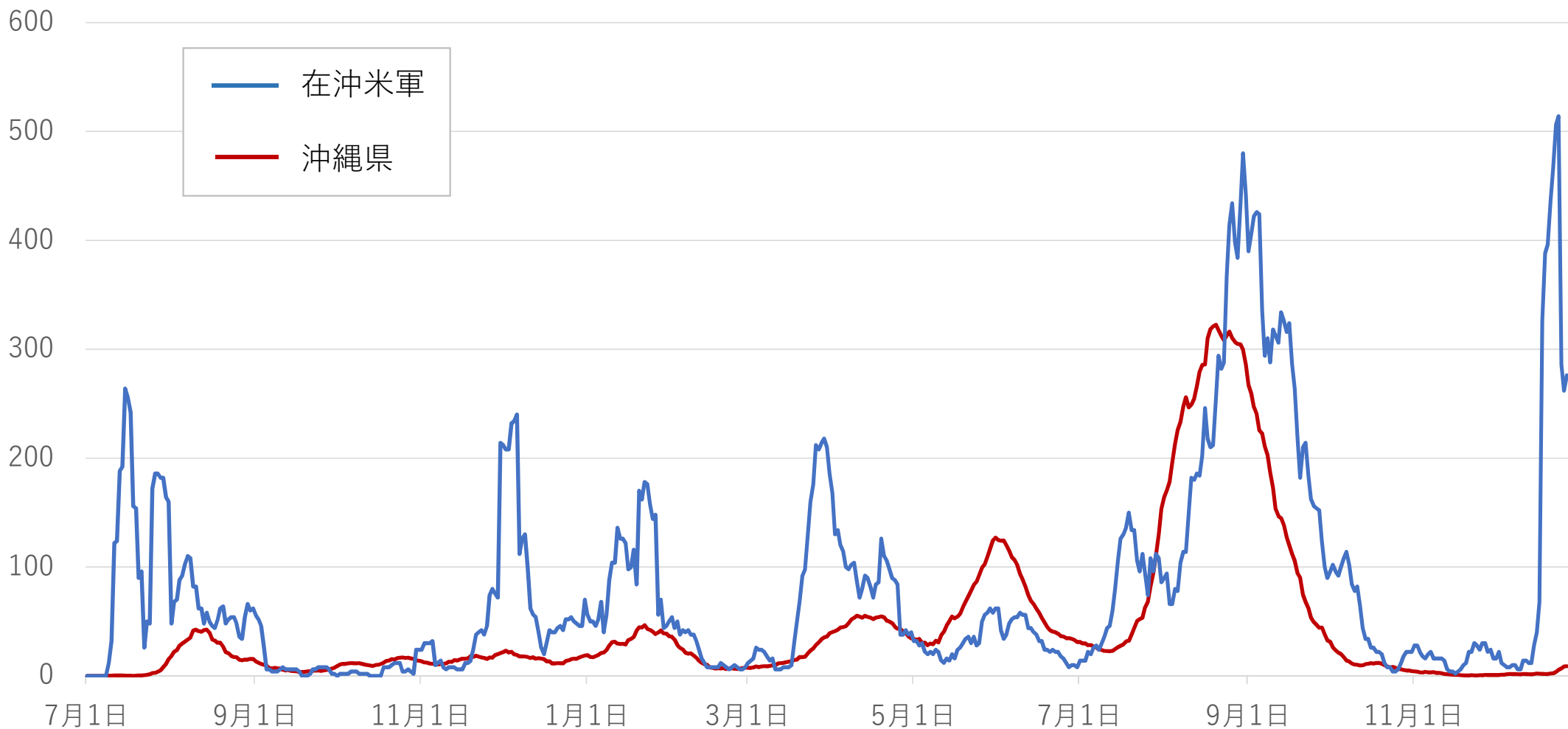


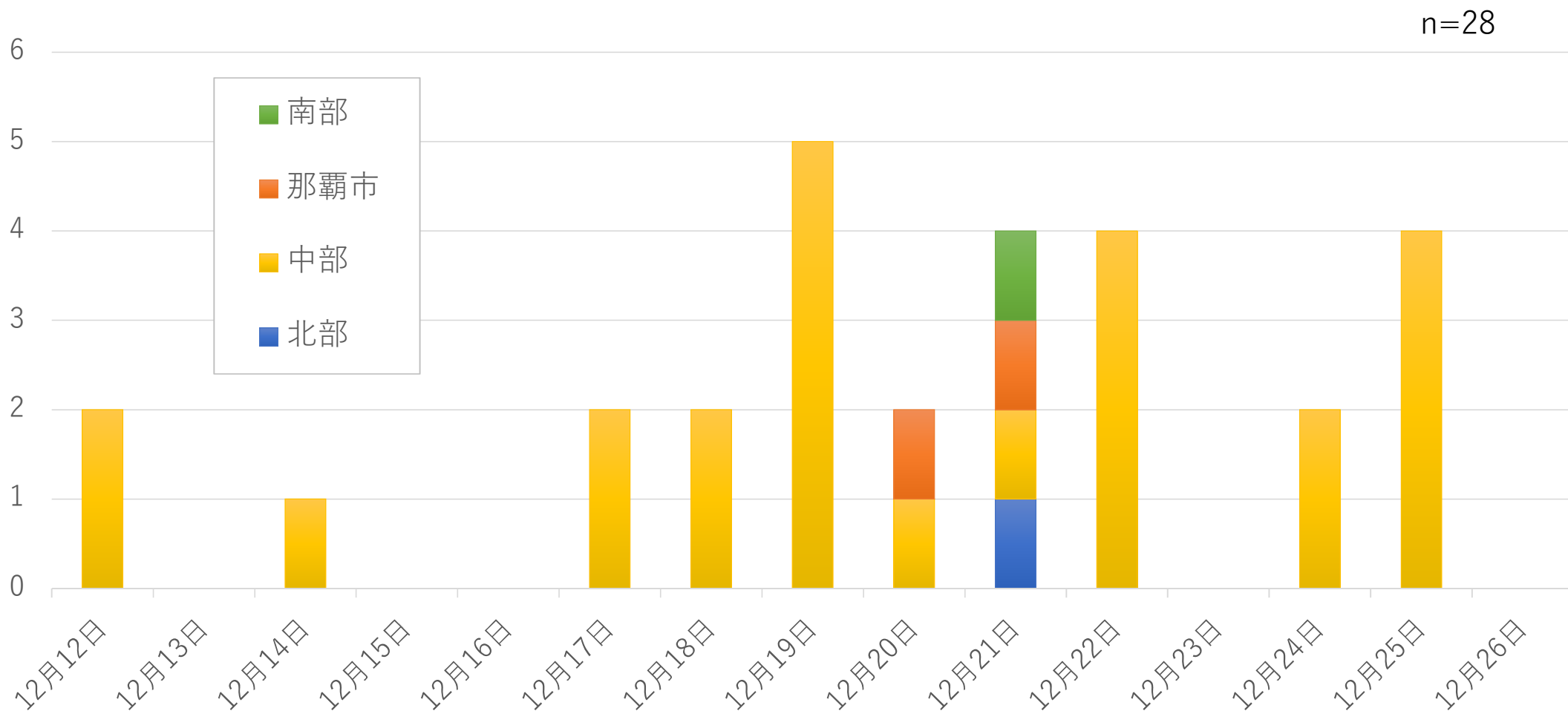
図6 在沖米軍と沖縄県における新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間移動平均



データは在沖米軍公表および沖縄県報告に基づく

図7 オミクロン株の新規陽性者数の推移 (発症日ベース)

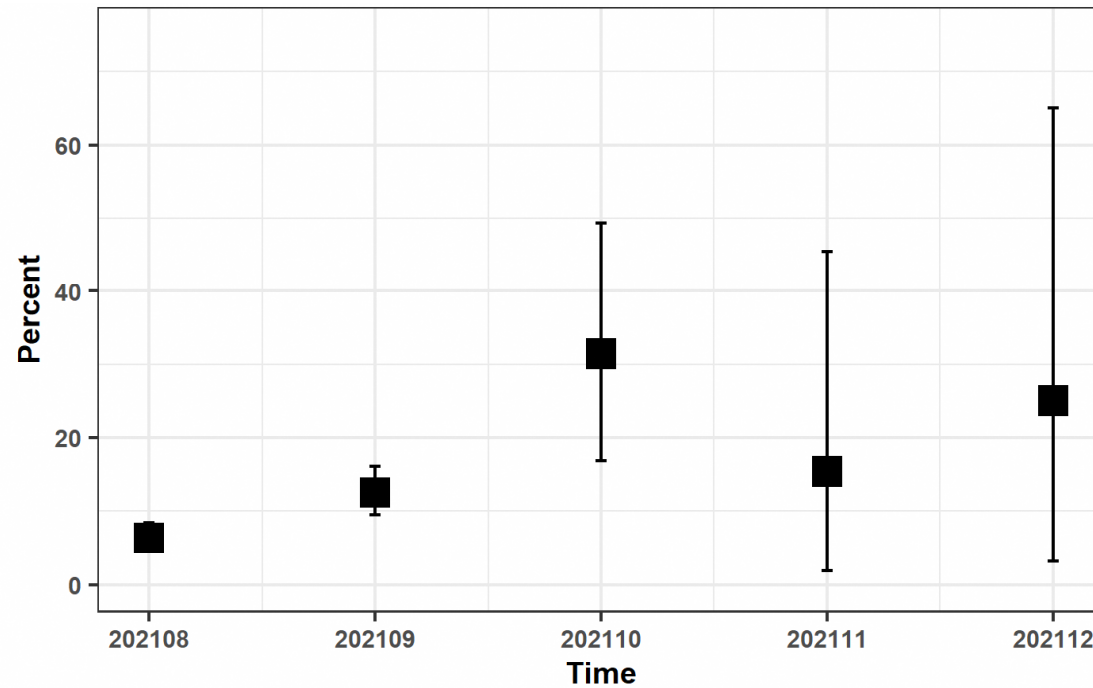


オミクロン株としての判定には、L452R変異株PCR陰性、オミクロン株濃厚接触者のPCR陽性者を含む。

図 8 沖縄本島中北部における住民向け集団検査の結果

	実施日	受検者数	陽性数	陽性率
基地従業員 (主にキャンプハンセン従業員)	12/18-26	654	7	1.07%
金武町 (基地関係者、飲食店従業員等)	12/22-24	297	0	0%
本部町 (町民)	12/26	114	0	0%
名護市 (キャンプシュワブ従業員、市民)	12/26-27	87	0	0%
計		1,152	7	0.61%

図9 職場感染が確認された感染者のうち 予防接種歴が2回ある感染者割合の月別推移



	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月
平均	6.3%	12.5%	31.4%	15.4%	25.0%
95%信頼区間下限	4.6%	9.5%	16.9%	1.9%	3.2%
95%信頼区間上限	8.4%	16.1%	49.3%	45.5%	65.1%

図10 今後1週間（12月27日-1月2日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）				入院患者数※				重症患者数※			
	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
北部	42	85	171	345	33	38	47	62	0.9	1.3	2.0	3.1
中部	15	30	60	122	7	8	9	12	0.1	0.2	0.3	0.4
那覇市	3	6	12	24	4	5	5	6	0.1	0.1	0.1	0.2
南部	2	4	8	16	4	4	4	5	0.0	0.1	0.1	0.1
宮古	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
八重山	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	62	125	252	507	48	55	66	85	1.2	1.7	2.5	3.8

※ 1月2日時点の見込み数

沖縄県疫学統計・解析委員会